

えん罪・仙台北陵クリニック事件 千葉刑務所 守大助さん面会記



10月9日（火）ご両親

8時20分頃受付に3連休明けで面会者が外まであふれていたのではと心配しましたがすべて未決で面会は1番でした。

少し暗い表情で入ってきたので一瞬世間を騒がせているパワハラかと心配したが、2日間続けての仕事が入り緊張していたせいと分かり安心、12日は運動会があるとのことで小中学校の運動会のヒーローでしたので期待に胸がワクワクと思いきや子供の頃の高揚感はないそうです。18年間にも及ぶ拘束でと思うと悲しくなり一日も早く運動会のヒーローに戻してやらねばという気持ちが湧いてきました。テレビ取材も入ることでしたがいつ放送されるかは未定とのこと。

前日は千葉の九十九里で玉田さんご夫妻達7名と交流があり面会者の支援が出来たらということでしたので、伝えたら大変喜んでおりました。これまでや、これからの面会者の話など、さらに詩集再出版など伝えることが沢山あったので30分の面会もアツというまででした。

えん罪・仙台北陵クリニック事件とは

守大助さん(当時29歳)が当時勤務していた医療法人北陵クリニックに於いて患者5人の点滴に筋弛緩剤を混入したとして2001年に逮捕。仙台地裁・高裁・最高裁で「無期懲役」が2008年2月に確定。同年7月から千葉刑務所に服役中。大助さんには動機がなく、患者の容体急変は筋弛緩剤の薬理効果と矛盾しており、科学鑑定でも否定されている。試料は鑑定時に全量消費・廃棄され、再鑑定ができない。

2012年2月10日仙台地裁に再審申立をし、2014年3月25日に再審棄却される。仙台高裁に即時抗告を行が2018年2月28日棄却される。3月5日最高裁に特別抗告を行う。

10月31日（水）

今日、お昼前に面会に行ってきました。もう10月も終わりだね…そんな一言から一月ぶりの面会は始まりました。差し入れた東野圭吾の新作の話をした後は、ずっと動物病院の話でした。先月テレビで見たそうで、「動物病院って人と変わらないんだね」って笑っていた大助さん。今のホームセンターやペットショップのご飯やおやつコーナーを見たらきっとビックリするよ、と私。猫が糖尿になる話、犬は虫歯にならない話、人間とは似てるようでここが違う話、と時間も忘れて話し込みました。狭い面会室じゃなく、仕切りなんかなく、まるでカフェで話してるんじゃないかと錯覚するくらい楽しい時間でした。もっといろんな事を話したい、笑い合いたい、そんな事を改めて思いました。

佐々木直美さん



10月29日北陵クリニック事件単独最高裁要請行動33名参加。署名5834筆、要請書51筆。次回は3月の予定

激励先〒264-8585 千葉市若葉区貝塚町192 守大助さん宛 2018年 123号

● 12月は上旬にメール等でお知らせします。救援会神奈川県本部に問合せ。

□ 面会申込み / □ 国民救援会神奈川県本部 Tel050-3310-1368 fax045-663-7953。

E mail-kyuenkai-k1@clock.ocn.ne.jp 発行/国民救援会千葉県本部 Tel043-239-7730 fax043-239-7740

E・mail kyuen-chiba@kc4.so-net.ne.jp

10月17日（月）救援会千葉・四街道支部

大助さんに面会すると心に決めて、戸賀さんに申し込みたい。面会するには、面会の10日前に、刑務所の大助さんに面会の行く手紙を出すこと。私と妻は、どうしても会ってもらえるように目立つ絵手紙を書いて出した。会えたら何を話したらよいかわからないので、質問形式で会話をしようと決め、箇条書きにした。大助さんは薄水色の作業服の襟元に清潔そうな白い肌着がのぞいていて、背は高く好青年が刑務官と入室。

私と妻に笑顔で挨拶をしてくれた。柔和な目を私たちに向けてくださっているだけで、大助さんは何の曇りもない（無実）証しを感じました。話は「5キロも痩せたと聞いていますが一日の労働時間は？」「8時間で5時半からはじまりますが、途中休憩もあります。」「はじめの頃、手当てが年十円だったので時給かなと思ったら月給」今は…いくらだったかな、時間外手当も出ます」

「千人分のしょくは米やみそ汁や炒め物の鍋の大きさは？」「大きな窯は3つ、炒め物はシャベルみたいに大きなものでかき回すがもなかなか回らないと先輩から叱られるくらい力が要します」「月に一回散髪」「ひげは電動カミソリ、カミソリも申し込めば借りられる」「本や週刊誌はいっぱいだと宅下げか、廃棄です」「どんな本が好きですか」「時代物はあまり読まない、浅田次郎、新田次郎は読みます」「手紙は月7通出せます」質問が途絶えたときに「あと1分です。何でもとうながされて・・・」まったくきこえない面会に終わってしまった。

売店で「購入すると物商品は、1週刊もかかって届くのに、面会者が購入すると物は2～3時間で届く」店員が言う。差し入れは面会日でなくても、随時できるそうです。

市川力さん、和子さん



カラスウリ&マユミ

10月29日（月）（千葉）

いつものようにドキドキしている私たちの前に大助さんが現れました。爽やかな笑顔。「元気？」「元気ですよ」のやり取りも、いつものように。「大丈夫ですよ。僕はやってないんだから」話は最高裁の要請のこと、大網白里でのご両親とのお茶会の様子。私のまわりは高齢者が多くて介護や自身の体調の不良や面倒なことが増えてきたこと。

世間話で時間がなくなってしまいそう。よく声を出して笑いあった。「朝起きると、ああここはっと、思う」と、大助さんは笑って話すが、30分の間風邪気味で声の出ない私がひっきりなしにしゃべっていたのに、「朝起きたら・・・」の彼の言葉しか思い出せない。「夢だったら、すべてね、ここにいるが・・・」とも言った。門を出て車に向かいながら、夫と二人、「早く早く、取り戻う早く」と声に出していた。

支援する総会17日には仲間のジャーナリストにも参加してもらうこと。千葉支援する会の活動にもっと集中して全国から来てくれる面会者と交流して励まし合い活動をひろげよう。

この国の司法の権威を高めないとね、ガラスの向こうの大助さんと力を込めて話した。今も、「朝起きると・・・」の声が胸いっぱい広がってくる。

大助さん返せ！爽やかな朝を返せ！

差し入れはタオル2枚、雑誌2冊、歯磨き粉2本、シートタオル1

玉田ミタテさん典彦さん